

<p><b>政治・経済</b> (Politics and Economics)</p>	<p><b>3年・通年・2単位・必修</b> <b>5学科共通・担当 竹原 信也</b></p>	
<p>〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕 (1)</p>		
<p><b>〔教育方法等〕</b> <b>概要</b>          私たちが現在生活している社会について、その仕組み、ルールを学ぶ。単なる暗記科目としてではなく、「生きた」学問として政治・経済を捉える。選挙権年齢が 18 才以上に引き下げられたことを踏まえて有権者として身に付けるべき知識・考え方を習得する。また、今年度は COC+における地域理解教育の一環として奈良県の産業や企業を調べ、地域へ理解を深めるとともに地域課題の解決について考えていく。</p> <p><b>授業の進め方と授業内容・方法</b>          教科書・穴埋めプリントを用いた講義を中心にすすめる。適宜、視聴覚教材の利用やグループ活動を行う。前半は主として経済のしくみや、地域経済について、後半は、国際社会や民主主義と選挙の仕組みについて学ぶ。</p> <p><b>注意点：</b>  <b>関連科目</b>          地理、歴史Ⅰ・Ⅱ、人文・社会科学特論、現代社会と法、技術者倫理（専）、地域と文化（専）</p> <p><b>学習指針</b>          授業をよく聞くこと。授業とは関係のない私語や携帯の利用は慎むこと。          授業の内容に関連するトピックについて各自色々と考えること。          有権者としての権利・責任を自覚して受講すること。</p>		
<p><b>〔教科書〕</b>          「高等学校 政治・経済」第一学習社</p> <p><b>〔補助教材・参考書〕</b>          必要に応じて適宜配布する。</p>		
<p><b>〔到達目標〕</b>          〈前期中間〉          「資本主義経済」について基礎的事柄を理解している。          「国民所得と経済成長」「金融・財政」について基礎的事柄を理解している。          〈前期末〉          地域の産業と経済について基礎的事柄を理解している。          奈良県の産業と経済についてその現状と課題を認識している。          〈後期中間〉          「民主政治と選挙制度」について基礎的事柄を理解している。          「日本国憲法」について基礎的事柄を理解している。          〈学年末〉          「国際社会」について基礎的事柄を理解している。</p>		
<p><b>〔評価割合〕</b>          60％・・・定期試験（前期中間・後期中間・後期末に実施する。）          15％・・・小テスト、課題レポート、授業プリント          25％・・・グループ学習（前期末の成績は定期試験の代わりにグループ演習を実施し、評価する。）</p>		

## 授業計画

	週	授業内容・方法	到達目標	自己評価*
前期	1 週	ガイダンス	講義の目的・概要を理解し、説明できる。	
	2 週	経済と資本主義経済の発達	経済と資本主義経済の発達について基礎知識を理解し、説明できる。	
	3 週	三つの経済主体と役割	三つの経済主体とその役割について基礎知識を理解し、説明できる。	
	4 週	完全競争市場の機能	完全競争市場の機能について基礎知識を理解し、説明できる。	
	5 週	不完全競争市場の課題	不完全競争市場の課題について基礎知識を理解し、説明できる。	
	6 週	経済成長と景気変動	経済成長と景気変動について基礎知識を理解し、説明できる。	
	7 週	金融と物価の仕組み	金融と物価の仕組みについて基礎知識を理解し、説明できる。	
	8 週	前期中間試験	授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。	
	9 週	奈良県経済の現状と課題	奈良県経済の現状と課題を理解し、説明できる。	
	10 週	地域の課題を分析する	地域の課題を分析する手法（SWOT 分析）を理解し、活用できる。	
	11 週	地域の課題を解決する（1）	について基礎知識を理解し、説明できる。	
	12 週	地域の課題を解決する（2）	について基礎知識を理解し、説明できる。	
	13 週	グループ発表の準備（1）	について基礎知識を理解し、説明できる。	
	14 週	グループ発表の準備（2）	POWERPOINT の操作を習得し、	
	15 週	グループ発表	グループ発表を通じてプレゼンテーションの成果と課題を把握できる。	
	16 週	ふりかえり	※前期末試験は実施しない。9～15 週の学習事項を再確認し、地域の課題を解決する態度を身に付けている。	
後期	1 週	民主主義の基本原則	民主主義の基本原則について基礎知識を理解し、説明できる。	
	2 週	日本国憲法の基本原則	日本国憲法の基本原則について基礎知識を理解し、説明できる。	
	3 週	基本的人権の保障	基本的人権の保障について基礎知識を理解し、説明できる。	
	4 週	日本の政治制度	日本の政治制度について基礎知識を理解し、説明できる。	
	5 週	日本の政党政治	日本の政党政治について基礎知識を理解し、説明できる。	
	6 週	日本の選挙制度	日本の選挙制度について基礎知識を理解し、説明できる。	
	7 週	有権者の基礎知識	有権者としてとるべき行動、ルールについて基礎知識を理解し、説明できる。	
	8 週	後期中間試験	授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。	
	9 週	国際社会のしくみと成り立ち	現代の国際社会の特徴とその成り立ちについて基礎知識を理解し、説明できる。	
	10 週	2 つの世界大戦と集団的安全保障の取り組み	2 つの世界大戦と集団的安全保障の取り組みについて基礎知識を理解し、説明できる。	
	11 週	東西冷戦	東西冷戦の勃発とその特徴について基礎知識を理解し、説明できる。	
	12 週	冷戦と戦後日本の歩み	戦後日本の歩みについて冷戦の過程と機軸に基礎知識を理解し、説明できる。	
	13 週	冷戦後の国際政治と日本の歩み	冷戦後の国際政治と日本の歩みについて基礎知識を理解し、説明できる。	
	14 週	現代の国際政治と課題	現代の国際政治と課題について基礎知識を理解し、説明できる。	
	15 週	貿易ゲーム	貿易ゲームを通じて、国際経済システムや貿易のしくみを体験し、国際経済、社会の課題について基礎知識を理解し、説明できる。	
	16 週	試験返却	試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。	

\* 4 : 完全に達成した, 3 : ほぼ達成した, 2 : やや達成できた, 1 : ほとんど達成できなかった, 0 : まったく達成できなかった。